

かぶうずら、やまいもうなぎ
アカカブの会の記録2021 no.1 〈コロナ禍・特別篇〉

参加者の記憶を媒介とした対面
での「言葉の交流」を目的とす
る、せたがやアカカブの会。こ
のたびのコロナ禍の状況を受け
て、会員の皆さまが各自のお住
まいから非対面的に参加できる
《ハガキ方式》での遠隔実施を
試験的にはじめました。

今回、各自の環境でご覧いただ
いた映像は no.27 向ヶ丘遊園
(昭和36年5月3日撮影) で
した。さて、どのような声が集
まってきたのでしょうか。じっ
くりお楽しみください。

世田谷文化情報センター
生活工房
Lifestyle Design Center

せ
た
が
や
あ
か
か
ぶ

穴アーカイブ: an-archive
記録を残すという営みを、記録が残らないこと、すなわち、記
録の不在(穴)から捉え直す反(an)アーカイブ的アーカイブ
の試み。昭和30~50年代にかけて市販された8ミリフィルム
という映像メディアに着目し、世田谷のまち、ひと、くらしに光
をあてる。2015年から始動。



せたがやアカカブの会 The setagaya akakabu circle
穴アーカイブにおいてデジタル化した映像を、じっくり観なが
ら語り合う小さな集いの場。ほぼ隔月で開催。開催予定、上
映内容は、生活工房HPまたはお問い合わせからご確
認下さい。一見さん大歓迎。本誌「かぶうずら、やまいもう
なぎ」は、当会の断片的・公式活動記録。

POST-MOVIE

(あ) 当時の年齢 26歳 世田谷区代田住 (い) 現在の年齢 86歳 世田谷区代田
(う) ロープウェイから下りたのて、あろうじ二人の子供をつれてママさんが坂道を上りながら来る。
子供さん スキップする様な身ぶり、こにこ浮き浮き楽しそう。歌を口ずさんでいる様に
見受けられる。遊園地用の自動車、子供一人用のもあり、大人もいっぱい数人乗っているもの
もある。この方は線路の様な軌道を走っている。のんびりヒューシーな感じがする。場面は変わる
これまた電車が静かに甲羅干しをしている。
場面は変わって、勢いよくウォーターシューターが水面に飛び込む場面、みんなの歓声が
聞こえそう。坂道を登る姿、少し疲れた様子で足がもたつく様子が重なる。
見上げる舞台ではアトラクションが行われている。マジックショー等がある。豆電車に乗って
帰る途中で終わる。
私的には向ヶ丘遊園は最寄駅から一本で行ける所で、家族連れがよく出かけた。長女が
親戚連れ、小さい頃、子供列車にのって一人で乗り回すのに手を握って何周かしたのを思っ
出す。その頃、木立の間に一軒にはがら園があり、きれいだった様に思う。(おぼろげながら思い出す)
長い月日が流れ、平成の時代になる。長く続いた向ヶ丘遊園閉園の日がはからず言われた
おなごりおしくて私は孫(長男の長男)を連れて最終日に出かけた。孫はおぼろげ屋敷で
見て来た、ひとり。ジェットコースターに乗るといって一人で乗る。危ないと思っ、私も一人心を
奪われて、本当に、こわい思いをした。思わず声を出して叫んだ。
思い出多い向ヶ丘遊園であった。
その子も成人し、私はその孫からスマホの扱い方を
日曜日ごとに教えてもらっている。

世田谷クロニクル
Setagaya Chronicle 1936-83



POST-MOVIE

(あ) 小学校低学年(小3~小4)の頃、群馬、高崎市
(い) その頃、観音山の中に開園したフェアリーランド(fairyland)
という遊園地へ先輩学童と一緒にいった。テークアップの回転で
気分が悪くなったり、お化け屋敷でもやみにはしゃいで先輩の不興を
買った。高台にある大観覧車(今がみれ口小さいが)がの眺め
は気持ちのよいものであった。帰りのバスで帽子を窓外に飛ばされ、
途中下車して拾いに行き、1分代と余分に食べた苦い思い出
を今でも忘れている。その遊園地は40年ほどで閉園し、
市が買い取って「観音山公園」となったそうである。

世田谷クロニクル
Setagaya Chronicle 1936-83



穴アーカイブ: an-archive

せたがやアカカブの会 vol.25 (ハガキ方式)

開催方法: アカカブの会々員に郵送した返信用ハガキに回答・返送してもらいました

募集期間: 2021年3月8日~6月7日

回答数: 2名

〒154-0004

東京都世田谷区太子堂4-1-1

キャロットタワー 5階

世田谷文化情報センター
生活工房 宛

かぶうずら、やまいもうなぎ アカカブの会の記録2021 no.1 〈コロナ禍・特別篇〉
発行日: 2021年6月30日

お問い合わせ: 生活工房 03-5432-1543 info@setagaya-ldc.net
編集: せたがやアカカブの会世話人(松本篤、八木寛之、成田海波、ブルサコワありな)
主催・発行: 公益財団法人せたがや文化財団 生活工房
〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー
http://www.setagaya-ldc.net/
企画制作: remo [NPO法人記録と表現とメディアのための組織]
後援: 世田谷区、世田谷区教育委員会

本誌の無断転写、複製、転載を禁じます。

[差出人]

(ご住所)

▶映像にまつわる下記3点を裏面にご記入ください。

(あ) 当時の年齢とお住まい

(い) 映っているもの、思い出したこと、疑問や感想など

(う) 現在の年齢とお住まい

*裏面にはご氏名を書かないでください

(ご氏名)

キャプチャー画像(裏面)

向ヶ丘遊園 | 昭和36年5月3日 | 向ヶ丘遊園

3分59秒 | モノクロ

家族で向ヶ丘遊園地に出かけた時に提供者の父(47歳)が撮影。ロープウェイ、アトラクションに乗る姉と妹、カメ、ウォーターシューター、ステージ公演などを写す
8ミリカメラを購入したばかりだったので撮影するのが楽しかった頃。撮影者の会社が休みの日には家族そろってよく出かけていた。

